

川上明君との思い出—硬軟両面の持ち主—

金沢犀川ワイズメンズクラブ 高木 啓一

私と川上さんとの出会いは約 19 年前に遡り、金沢犀川 Y's Men's Club のチャーターを目指しその準備会を立ち上げた頃に、次期会長予定の三谷さんより高校時代の同級生で北陸銀行を退職された方との紹介で知り合いました。

彫りの深い顔立ちと立派な眉に元銀行の支店長経験者とのことですので、ちょっと気難しい方かなというのが初対面での印象でした。しかし親しくお付き合いさせていただくと、その印象とは大いに違っており、株の売買をこなし、週 2 回はゴルフを楽しみ、準備会の後は片町のスナックで石原裕次郎のカラオケを大いに唄い、さらにはポケットにある黒色の手帳にメンバーのお気に入りカラオケのレパートリーをビッシリとメモをするといった、硬軟両面を持ち合わせる繊細な方で、他には変えがたい貴重な人でした。



(2003 年 5 月 24 日 クラブ創立 10 周年記念集会后に)

天国でゆっくりと好きな事を思う存分なさってください。心よりご冥福を祈ります。



(2006 年 6 月 8 日 6 月第一例会の二次会 “笑宿” にて)